

福島県北森林組合だより



ごあいさつ

福島県北森林組合 代表理事組合長 菅野 厚

組合員の皆様には、日頃より当組合の業務に関しまして、ご理解とご支援を賜り、御礼申し上げます。

令和3年度を振り返りますと、新事務所の竣工と移転という大きい出来事がありました。当組合は、平成19年4月に4つの森林組合が合併し、福島市岡部の旧福島森林組合事務所で営業を開始しました。手狭であること、老朽化、地盤の問題などの観点から新事務所建設の検討を重ね、昨年11月に管内の中心に位置する松川地区に新事務所を完成させることが出来ました。以前も申し上げましたが、4組合の合併を第一の創成期、新事務所移転を第二の創成期と私は考えて、積極的に業務推進してまいります。現在、山林の所在を所有者が把握していない、境界線が不明であるなどの問題が増え、我々が仕事をしていくうえでの障害になっているため、今後、関係機関と連携をとり、皆様のご理解をいただきながらひとつひとつ解決していきたいと考えております。

さて、組合員の皆様におかれましては、木材価格の低迷など厳しい状況が現在も続いております。しかし、持続可能な開発目標であるSDGsによって、森林が持っている機能とその重要性に世間の注目が集まるようになりました。地球温暖化防止や水源かん養機能による山地災害の防止など、森林が持つ公益的機能は色々ありますが、我々が森林の担い手として森林を管理していく意義は大きいのではないかと改めて感じているところであります。

此度の総代会では、「ふくしま森林再生事業への積極的な取り組み」、「森林整備センターによる公益分収林の推進」、「組合利用支援事業の拡大とサービスの向上」、「新事務所を活用した森林・林業の情報発信」の4つのスローガンを掲げました。これらは職員で作成した今年の目標です。いろいろなことが時代とともに変わろうという中で、我々森林業界も変わらなくてはいけないことが多々あるかと思えます。職員一同研鑽をし、資格取得や講習会へ参加することで、スキルアップを重ね、今の時代、そして、これからの時代に適応できる組合を目指して進んでまいりたいと思えます。

結びになりますが、本年度も引き続き皆様のご指導ご鞭撻をお願いいたしますとともに、一日も早く健康で平和な日常に戻りますようご祈念申し上げます。

第15回通常総代会結果報告

令和4年6月24日(金)、第15回通常総代会が福島県青少年会館(福島市)にて開催されました。

福島県県北農林事務所より家久来克之所長、福島県森林組合連合会より田子英司会長をご来賓にお招きし、ご祝辞をいただきました。今年度の開催につきましては、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止の観点から、総代の皆様に「書面による議決権の行使」と「総代会への出席」を選択していただき、感染対策を行ったうえでの開催となりました。

総代定数210名のうち、本人出席34名、書面による議決権行使130名、計164名により総代会が成立し、議長に伊達地区総代の佐々木 壮之助氏が選出されたのち、議案の審議となりました。

下記7議案を提案し、第1号議案から第7号議案まで、原案のとおり可決承認されました。

総代会スローガン

- 1 新事務所を活用した森林・林業の情報発信
- 2 組合利用支援事業の拡大とサービスの向上
- 3 ふくしま森林再生事業への積極的な取り組み
- 4 森林整備センターによる公益分収林の推進

議 案	議 題
議案第1号	令和3年度業務報告承認について 1. 事業報告書 2. 貸借対照表 3. 損益計算書 4. 注記表 5. 付属明細書
議案第2号	令和3年度剰余金処分案承認について
議案第3号	令和4年度事業計画の設定について
議案第4号	令和4年度内における借入金の最高限度額決定について
議案第5号	令和4年度内における一組合員に対する貸付金の最高限度額決定について
議案第6号	余裕金の預け入れ先金融機関の決定について
議案第7号	令和4年度理事及び監事の報酬について



代表理事組合長挨拶



議事経過

福島県北森林組合総代員 (任期：令和4年8月1日～令和7年7月31日) 総代員数 210 名

久間木慶一		北信地区		松川憲次		武田ノブ		佐藤重忠		信陵地区		山本當明		大内徹		清水地区		阿部一照		景井信幸		長島信日出		高橋幸一		旧市内地区		今野仁義		佐藤仁一		飯坂地区		山田秀一		今野哲朗		平野地区		佐藤和衛		石田良夫		湯野地区		山田正雄		今野久雄		鈴木力		茂庭地区		桑折町・国見町		福島市福島市野々々		第二区									
池田健蔵		加藤由一		伊藤芳信		大波喜重		佐藤喜重		東部地区		丹治武雄		加藤晴一		茂木良平		小野友典		佐藤勝佐		阿部実雄		半沢安武		安田武男		松川地区		大竹俊一		斎藤正弘		渡部真一		斎藤忠一		渡辺修夫		二階堂保夫		信夫地区		渡辺大蔵		渡邊幹		穴戸一治		阿部征治		阿部勝広		阿部幹郎		西信地区		二階堂典男		後藤義男		菅野賢一		吾妻地区			
佐藤政浩		佐藤豊之助		村上信夫		穴戸惣兵衛		菊地顕一		阿部泰蔵		吉田英勉		八島雄		国見地区		佐藤鎌太郎		紺野幸男		半沢隆雄		木村忠浩		佐藤重		浅尾日出夫		朽木徹		桑折地区		佐久間太一郎		赤間友吉		杉妻地区		宝槻利平治		菅野美典		朝倉鐵哉		立子山地区		菅野兼行		尾形信一		本田新吉		齋藤吉紀		菅野榮吉		渡利地区		安田直博		羽田野隆		清野原征治		嶋原	
小賀坂重春		今井清孝		松本善平		梁川地区		高橋義明		菅野金裕一		菅野直人		菅野浩次		菅野三男		渡辺庄之助		佐々木善一		遠藤恒夫		渡辺健作		八島福一		斎藤喜一郎		大橋博之		大橋清美		齋藤憲一		靈山地区		佐藤輝永		石河源二		齋藤勇晴		関根敏廣		高木正志		齋藤武治		菅野龍吾		月館地区		第二区伊達市		嶋田善二		仲野博行		安藤信晴		齋藤行夫					
佐藤正幸		秋山地区		武藤潔		羽田地区		菅野俊宏		小神地区		高橋清一		菅野藤次		西福沢地区		斉藤克弘		東福沢地区		鶴沢地区		氏家経夫		佐々木敏勝		阿部浩		川俣地区		川俣町福島市飯野町		第三区		石神兵一		保原地区		岡崎孝一		八巻正美		菊地茂		八巻順一郎		佐藤福太郎		三浦善七		引地昇一		齋藤行夫													
鳴原俊一		大橋忠幸		相馬市郎		遠藤吉喜		武藤健一		渡辺徳治		佐藤喜十郎		高橋幸男		岩代地区		安齋健一		安齋助一		佐々木清正		中村寿伯		佐藤公生		丹治秋郎		遊佐善蔵		安達地区		中沢武夫		斎藤芳博		星平貢光		奥平克市		鈴木新鉄		杉内吉行		市川敏雄		安田重徳		武田盛盛		根本辰男		今福松司		大内清光		太田英晴		二本松地区		二本松市本常大寺町		第四区			
國分清進		渡辺充朗		三瓶善春		伊藤内郎		大内憲治		白沢地区		伊藤三男		佐藤一郎		官野紀男		押山勇夫		鈴木裕一		後藤寿夫		大玉地区		橋本紀彦		本宮地区		佐藤宗夫		大内孝吉		本多弥		服部和男		高槻盛栄		齋藤耕一		関野清雄		菅野康雄		安藤清喜		佐藤一男		東和地区		菅野功一		日下部耕蔵		伊藤清市		遠藤功一									



福島県北森林組合																																											
(職 員)																																											
参事(兼)指導課長																																											
會計主任		村 上 幸 次		大 橋 聡 子		鈴 木 秀 彦		嶋 津 美 貴		三 浦 和 樹		白 岩 誠		磯 部 直 之		武 藤 嵩 大		佐 藤 博		黒 澤 昭 次		滝 田 悦 史		武 藤 鯉 矢 子		日 野 健 太		木 村 竜 輔		吉 野 真 大		渡 邊 恭 兵		平 幸 一		菅 野 敦 司		高 橋 唯 夫		菅 野 睦 子		飯 沼 勝 好	

森林組合の取組み状況について

福島大学の学生との交流

令和4年4月7日(木)に、福島大学農学群食農学類の学生を迎え、当組合が所有している高性能林業機械を使用した、伐採から搬出までの一貫作業システムの見学会を行いました。

一連の作業の中で、特に高性能林業機械に興味を示したので、実際に運転席に座って、各部の操作方法などについて、説明をしました。学生からは、「重機に触れることは初めてで、いい経験になりました。」とのことで、当組合としても、この見学会が大学の研究や卒業論文等の参考になれば幸いです。

当組合では、森林・林業について理解を深めていただけるよう、今後もこのような見学会を実施するとともにインターンシップ（就業体験学習）の実習生を迎え入れ、実習や研修プログラムをもとに就業体験をおこなってまいります。



福島県議会農林水産委員会の事務所視察

令和4年7月1日(金)に福島県議会農林水産委員会（佐々木 彰 委員長）の皆様が、現地調査の一環として当組合事務所に来所しました。事務所2階の研修室にて、事務所新設における地元材の利活用について説明した後、実際に事務所内を見て、触れていただき、木造建築物の良さを体感していただきました。

今後も「木」の活用を先導できる建物として、森林・林業の周知、PRに繋げてまいります。

安全衛生委員会

安全で衛生的な作業環境を推進していくため、毎月10日に安全衛生委員会を開催しています。7月は当組合の産業医である松川クリニック院長（村松 尚夫 先生）を迎え、熱中症対策について講演していただきました。今後も作業環境を改善していくため、委員の意見を取り入れながら、職員・現場技能者への周知を徹底し、安全と健康の維持に取り組んでまいります。



森林施業プランナー資格取得への取り組み

管内の森林は、小規模分散型の所有形態が多く、また、路網整備も進んでいないため、個人で山林の手入れをすることは難しい状態にあります。これらの森林施業を低コストで効率的に行うため、林地を集約化し、路網整備を一体的に行う提案型集約化施業の推進に向け、「森林施業プランナー」の資格取得に力を入れております。

今年度は、3名が新たに森林施業プランナーに認定され、現在当組合には5名のプランナーが在籍しております。

これからも、組合員の皆様のお力になれるよう、スキルアップを続けてまいります。

広葉樹林再生事業について



伊達市霊山町

令和2年度 事業実施箇所
(皆伐後の萌芽更新予定地)

阿武隈山系では、年間3万m³程のシイタケ原木（コナラ、クヌギ）を生産していましたが、原発事故後は放射性物質の影響により指標値（50Bq/kg）を上回る地域が大半となり、原木生産ができない現状にあります。

広葉樹林再生事業では、シイタケ原木を生産していた広葉樹林について、次世代への更新に必要な伐採や作業道を整備します。

県北管内においては、令和2年度に伊達市霊山町大石地区、令和3年度に二本松市伊佐沼地区を実施しており、放射性物質濃度測定などの調査を継続して行っています。

今後も福島県・管内市町村と連携を取りながら、広葉樹林の再生に向け計画的に取り組んでまいります。

ふくしまの緑を守るために 再造林を行いましょう

昨今、主伐面積に対する人工造林面積の割合は3～4割程度となっており、主伐及び主伐後の再造林が停滞している状況です。

再造林が進まない背景としては木材価格の低迷や造林費用の負担増が挙げられますが、伐採と造林の一貫作業化や低密度植栽、下刈回数の省略などにより、費用を抑えながら再造林に取り組むことも可能となっています。

ふくしまの緑、環境を守るためにも、主伐後の再造林を行いましょう。



第一回

半田山フォトコンテスト 作品を募集します！

当組合で管理をしている「半田山自然公園」の自主事業として、半田山フォトコンテストを実施いたします。半田山、半田沼、半田山自然公園…皆さんの半田山の～秋の風景～を写真にして、ぜひ、ご応募ください。

作品募集期間

令和4年9月1日(木)～11月30日(水)

※ 詳しくは、HPをご覧ください。



新職員紹介



総務課 三浦 和樹

令和4年1月4日に福島県北森林組合の職員となりました、三浦和樹です。生まれてから自然に囲まれて生活してきたので、この度のご縁により、森林に関わる仕事に就けたことをとても嬉しく思っております。

勤め始めてから半年たちますが、まだまだ新しいことを学ぶ機会も多く、日々新鮮な気持ちで業務に取り組んでいます。これからもたくさんの知識と経験を積み、組合員のみなさまの声に寄り添っていけるように精進いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

組合員の皆様へ

組合利用支援事業

今年はさらにお得!

組合利用支援事業とは…組合員様限定の特別割引制度です。

例えば…

森林組合の購買品

今まで

15%

▶▶▶ 20%割引!!

※機械部品等は
対象外となります。**安全対策用品** ヘルメット、チェーンソー用防護ズボン、スパイク付長靴、ハチ対策用品など**土佐打刃物** 鎌、鉋、鋸など… 本場の刃物はどうですか?その他にも、**苗木** **除草剤** **林業機械** などの購買品が対象になります。

山林の手入れ、家の周りの支障木の処理…

森林組合を利用すると…

今まで

10%

▶▶▶ 20%割引!!

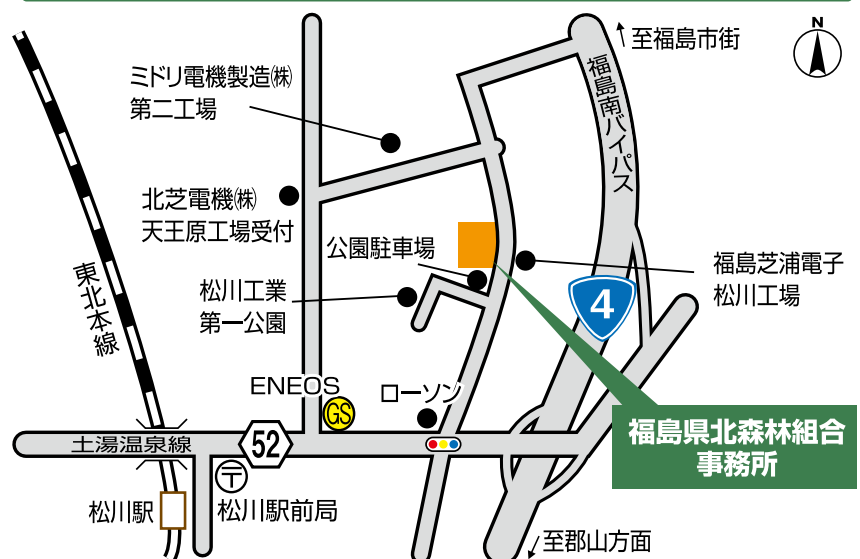


是非、ご利用ください

立木賠償支援について

原発事故当時、森林簿において林齢50年以下の広葉樹の山林を所有している方で立木賠償申請の手続きがお済みで無い方は当組合までご相談ください。

事務所案内図



◇発行／福島県北森林組合 指導課

〒960-1246 福島市松川町金沢字外手1番3

TEL:024-573-8992 FAX:024-573-8993

mail:jforest@f-kenpokusinrin.or.jp

●組合員数／8,653名 ●払込出資金／183,327千円(令和4年3月末現在)

福島県北森林組合

検索

<https://f-kenpokusinrin.or.jp/>